

平成 21 年度 事業 報告 書

平成 21 年 8 月 1 日から平成 22 年 7 月 31 日まで

特別非営利活動法人 東京ノーヴィ・レパトリーシアター

1. 年度総括

私たちの目的は、演劇を通して「心と魂の芸術」を広く普及させ、「心と魂のための文化」が社会に根付いていく事です。その為に、活動の主軸として、日本や海外の古典作品を中心とした“レパトリー・システム(演目の日替わり上演)”スタイルによる公演活動を行っています。特にこの数年は、俳優の成長と共に各作品の内容が深まり、他では体験できない魅力の舞台が見られると、多くの方々から高い評価を受けるようになりました。けれども、その反面、私たちの小さな常設劇場では活動の限界が生じ、より大きな劇場へ移ることが緊急の大きな課題となってきました。

劇場の問題も含め、私たちの活動は、今後いっそう、社会との協力関係が必要になってきています。一方、私たちの活動は、まだまだ会員(俳優)によるボランティアが主体であり、そこに今の活動の限界があります。活動目的、内容、実績を、どう明確に伝え、どう支援・協力関係を得ていくかが、今後の具体的な課題となります。

平成 21 年度の活動では、多くの実験的な公演を行い、また国際フェスティバルに共催として関わるなど、将来の幅広い可能性に向けての大きな一歩となりました。これらの活動実績が、単年度的な企画に終わらず、どう継続的に発展させていくかも大きな検討課題です。

2. 事業報告

(1) 特定非営利活動に関わる事業

●事業名 : 演劇の公演事業 (定款 5 条-1)

事業内容 : 「年間レパトリー」公演

当年度も引き続き、日本や海外の優れた近代・古典作品の上演を、約7ヶ月間にわたり、毎週、平均3作品のペースで、広く公開してきました。年間レパトリー公演は、この年度で、6年目を迎えました。

上演演目: A・チェーホフ作 「かもめ」「ワーニャ伯父さん」「三人姉妹」
M・ゴーリキー作 「どん底で」
W・シェイクスピア作 「ハムレット」
近松門左衛門作 「曾根崎心中」
宮沢賢治作 「銀河鉄道の夜」

実施期間 : 2009年11月6日～2010年5月2日 (7演目/77公演)

実施場所 : 東京ノーヴィ・レパトリーシアター劇場 (世田谷区)

従事者の数 : 45人

受益対象者の範囲及び人数 : 一般市民 804人

支出額(単位;千円) : 1,388

●事業名 : 俳優、演出家等の演劇創造に関わる人材育成及び支援事業 (定款 5 条-2)

事業内容 : 「一般市民対象のマスタークラス」

当クラスでは、当団体の芸術監督L・アニシモフ氏の指導・監修により、「演劇芸術における創造の秘密と方法」を演劇に興味のある多くの方々に広く公開してきました。

《俳優の為のマスタークラス 「具体的かつ明瞭な実践法 スタニスラフスキーシステム」》

2009年10月5日～10月30日(全15回)

《演出家の為のマスタークラス

「俳優の生きた感情を呼び覚まし、作品のテーマへと導くスタニスラフスキーシステム」

2009年11月10日～12月3日(全10回)

《俳優の為のマスタークラス「具体的かつ明瞭な実践法 スタニスラフスキーシステム」

2010年4月5日～27日(全14回)

実施日時：2009年10月5日～2010年4月27日(計39回)

実施場所：東京ノーヴイ・レパートリーシアター劇場(世田谷区)

従事者の数：5人

受益対象者の範囲及び人数：演劇に興味がある一般市民 113人

支出額(単位;千円)：3,448

事業内容：「シニアクラス」

芸術創造の鍵は、個人の人生体験の記憶の中にあります。私たちは豊かな人生経験をもつ、特に50歳以上の人を対象にしたワークショップを開催しています。

当年度は、チャーホフ作『ワーニャ伯父さん』と『桜の園』を、発表会を交えて、企画しました。(当団体の芸術監督L・アニシモフ氏の指導・監修)

《大人が作るチャーホフ作品「ワーニャ伯父さん」》

2009年9月7日～11月26日(全26回)

《大人が作るチャーホフ作品・第二弾「ワーニャ伯父さん」「桜の園」》

2010年4月19日～5月15日(全8回)

実施日時：2009年9月7日～2010年5月15日(計34回)

実施場所：東京ノーヴイ・レパートリーシアター劇場(世田谷区)

従事者の数：5人

受益対象者の範囲及び人数：演劇に興味がある50歳以上の一般市民 30人

支出額(単位;千円)：267

事業内容：「スタジオクラス」

専門家としての俳優を目指す青年層を対象に、前年度に続き、実際の公演活動を体験しながら学ぶ場を提供してきました。(当団体の芸術監督L・アニシモフ氏の指導・監修)

《秋期スタジオクラス対象マスタークラス》

2009年9月4日～11月5日(全21回)

《春期スタジオクラス対象マスタークラス》

2010年3月15日～5月11日(全14回)

※その他、年間を通じて、劇団員による勉強会を実施。

《スタジオ生による実習公演 A・チャーホフ作「イワーノフ」》

2009年11月8日～2010年4月18日(全12回)

実施日時：2009年9月4日～2010年5月11日(計47回)

実施場所：東京ノーヴイ・レパートリーシアター劇場(世田谷区)

従事者の数：5人

受益対象者の範囲及び人数：専門家を目指す一般市民 23人

支出額(単位;千円)：293

● 事業名：演劇を通しての国際文化交流事業(定款5条-4)

事業内容：「第4回 奇人変人倶楽部」

主に、国内外の文化人や科学者、経済人を招いて、毎回テーマを選び、文化・芸術についての国際交流座談会を開いています。当年度は、“国を越えてつながり新たな文化を生み出す”ものとして、「メタカルチャー」をテーマに話し合われました。また、この座談会では、特別企画として香道の先生をお招きし、参加者の方々に、

実際に香道を体験していただきました。

《第4回 奇人・変人倶楽部》参加者（計16名）：（50音順・敬称略）

井出 勉（作家）、岡崎弘司（TNRT 理事長）、加賀 乙彦（作家・精神科医）、鎌田 東二（京都大学こころの未来研究所センター教授／京都造形芸術大学客員教授・宗教哲学／神道ソングライター）、遠坂 創三（神奈川大学講師／ロシア語通訳）、長屋 晃（ロシア料理・渋谷ロゴスキー顧問相談役）、細谷 晴男（脳科学研究者）、細谷 綾子（トータルライフコーディネーター・細胞矯正士）、森井 睦（日本演出者協会国際部長／ピープルシアター主宰）、八木 昭子（TNRT 芸術部部长・女優）、渡辺 歌子（シャンソン歌手）、セルゲイ・ヤーチン（極東国立技術大学 文化人類学学部部長・哲学科主任教授）、レオニード・アニシモフ（TNRT 芸術監督／ロシア功労芸術家／芸術学教授）、他
香道 講師：吉田 哲

実施日時：2009年9月20日

実施場所：東京ノーヴィ・レパトリーシアター劇場（世田谷区）

従事者の数：10人

受益対象者の範囲及び人数：16人

支出額（単位：千円）：29

事業内容：「チェーホフ生誕150年記念

第9回シアターX国際舞台芸術祭（シアターカイ主催）」共催参加

当年度は、チェーホフ生誕150年に当る為、チェーホフをテーマに開催された同芸術祭において、当団体の芸術監督L・アニシモフ氏とその企画・立案に関わり、チェーホフ作品を題材にした落語や浪曲など、日露の文化が融合した新しくユニークな作品が生まれています。

また、同芸術祭での目玉企画となった、ロシア・サンクトペテルブルグの「ボリショイ・ドラマ劇場」の招聘に関わり、同劇団の「子犬を連れた奥さん」の上演が実現しました。

同芸術祭のオープニング公演として、日露韓米・合同制作「プロポーズ」を上演したほか、一般参加公演として、当団体のレパトリー作品である「三人姉妹」を上演しました。

《同芸術祭、オープニング公演 日露韓米・合同制作「プロポーズ」》

2010年6月1日公演

演出 / L・アニシモフ（露）

出演 / P・レイヤー（米）、ヨーコ・レイヤー（米）、李哉尚（韓）

《同芸術祭、参加公演 「三人姉妹」》

2010年6月7日公演（シアターカイ公演）

また、韓国からは、李・哉尚（イ・チェサン）氏と同氏の主宰する韓国の劇団「インチョン・ノーヴィ・シアター」を招き、「アングル・ワーニャ」の上演に関わる支援を行いました。

《同芸術祭での韓国からの劇団招聘公演「アングル・ワーニャ」》

2010年6月3日公演（シアターカイ公演）

2010年6月2・4・5日公演（東京ノーヴィ・レパトリーシアター公演）

演出 / 李哉尚（韓）

出演 / インチョン・ノーヴィシアター（韓）

併催企画として、「下北沢チェーホフ祭」を地元で開催し、チェーホフの4大戯曲の外、初期の作品として、「イワーノフ」と「プロポーズ（劇団員による自主制作）」を連続上演しました。

この公演企画では、終演後に観客と出演者を交えて、チェーホフについて語り合う交流会を開き、参加した方々から好評を頂きました。

《チェーホフ生誕150年 下北沢チェーホフ祭》2010年6月12日～20日

上演演目；

『熊・プロポーズ』（TNRT 版、スタジオクラス版）

『ワーニャ伯父さん』（シニアクラス）

『桜の園』（シニア・スタジオクラス）

『イワーノフ』（スタジオクラス）

『かもめ』『ワーニャ伯父さん』『三人姉妹』（TNRT）

実施日時 : 2010年6月1日～6月20日 (計14公演)
実施場所 : 東京ノーヴィ・レパトリーシアター劇場 (世田谷区)/両国シアター・カイ (墨田区)
従事者の数 : 45人 (下北沢:45人/両国:45人)
受益対象者の範囲及び人数 : 335人 (「下北沢チェーホフ祭」:222人/両国「三人姉妹」113人)
支出額(単位;千円): 2,456

事業内容 : 「チェーホフ生誕 150 年記念第 9 回シアター X 国際舞台芸術祭(シアターカイ主催)」
併催企画《表現者の為のマスタークラス》

併催企画として「表現者のためのマスタークラス」を開催。
国際的な総合舞台芸術祭という企画にちなみ、演劇にとどまらず、全ての表現芸術者に対象を広げ、「創造の秘密と方法」についてのワークショップを広く公開しました。

実施日時 : 2010年6月14日～25日(全10回)
実施場所 : 両国ギャラリーカイ (墨田区)
従事者の数 : 5人
受益対象者の範囲及び人数 : 表現芸術に興味を持つ一般市民 14人
支出額(単位;千円): 152

●事業名 : 演劇を通しての地域文化への貢献及び交流事業 (定款 5 条-5)

事業名称 : 「アートサロン “隣りのチェーホフさん!”」

演劇を“劇場”以外の場でも、実感し、理解を深め、楽しんで頂くための場所として、「アートサロン」を定期的に開催しています。この年は、チェーホフ生誕 150 年に当る為、特にチェーホフに関わる催しを行い、多くの方に楽しんで頂きました。

実施日時 : 2010年4月25日
実施場所 : 東京ノーヴィ・レパトリーシアター劇場 (世田谷区)
従事者の数 : 5人
受益対象者の範囲及び人数 : 一般市民 17人
支出額(単位;千円): 17

事業内容 : 「町田演劇講座」

町田演劇鑑賞会を通じて、主に町田市民を対象に、演劇を鑑賞するだけでなく、より深く体験し理解してもらうための演劇講座を行いました。

《町田演劇鑑賞会 主催 「俳優を目指さない方の為の演劇講座」》
「スタニスラフスキー・システムを体験してみませんか? ～ よりよい人間関係を築くために ～」

実施日時 : 2009年10月3日
実施場所 : 町田市民文学館 ことばらんど会議室 (町田市)
従事者の数 : 13人
受益対象者の範囲及び人数 : 町田市在住・在勤の一般市民 30人
支出額(単位;千円): 53

事業内容 : 都立目黒高校 視聴覚教室「どん底で」公演

駒場エミナースにおいて、都立目黒高校の高校生を対象に、世界的な古典である、M・ゴーリキーの「どん底で」を上演しました。

実施日時 : 2009年12月11日
実施場所 : 駒場エミナース (目黒区)
従事者の数 : 26人
受益対象者の範囲及び人数 : 目黒高校の高校生 500人
支出額(単位;千円): 620

事業内容：金剛院「曾根崎心中」公演

豊島区にある真言宗豊山派 金剛院の本堂で、日本の古典作品「曾根崎心中」を上演しました。寺院という場所は、本来「人の集(つど)う」交流の場所であり、「祈りの場」として重要な役割を果たしてきました。この特別な場所での演劇体験は、作品のテーマとも響きあい、多くの方から好評をいただきました。

実施日時：2009年10月18日
実施場所：真言宗 豊山派 金剛院 本堂 (豊島区)
従事者の数：25人
受益対象者の範囲及び人数：一般市民 119人
支出額(単位;千円)：323

事業内容：西御門サローネ「ワーニャ伯父さん」公演

鎌倉には、多くの歴史ある洋館があります。私たちは西御門サローネ(旧:里見惇邸)を使い、その実際の生活空間の中で、チェーホフ作品を上演しました。また、鎌倉という土地は、文化芸術の街として歴史と伝統があります。今後も、鎌倉を発信地とした新しい芸術運動の可能性について、計画・検討しています。

実施日時：2009年10月23日
実施場所：西御門サローネ (旧 里見 惇邸/鎌倉市)
従事者の数：35人
受益対象者の範囲及び人数：一般市民 39人
支出額(単位;千円)：529

事業内容：平成22年度 鎌倉妙本寺「曾根崎心中」公演に関わる活動

鎌倉市での継続的な文化支援活動の一環として、平成22年度に、鎌倉 妙本寺の本堂で、「曾根崎心中」上演の準備を進めています。

実施日時：2010年10月22日 (予定)
実施場所：鎌倉市 妙本寺 本堂 (予定)
従事者の数：15人
受益対象者の範囲及び人数：一般市民 100人 (予定)
支出額(単位;千円)：56

事業内容：岩手 宝くじ文化公演「銀河鉄道の夜」

岩手県において、「宝くじ文化公演」として、宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」を上演しました。作者、宮沢賢治の縁の土地であるだけでなく、当地において、地元の多くの方々に支援、協力をいただきました。また、「俳優の息遣いや、繊細な音声表現を伝えるために」マイクを効果的に使った実験的な演出が、地元スタッフの方々の協力により実現し、高い評価を受けました。

実施日時：2010年7月4、5日
実施場所：みやもりホール/銀河ホール (岩手県)
従事者の数：45人
受益対象者の範囲及び人数：岩手県の一般市民 580人
支出額(単位;千円)：6,206

(2)その他の事業

(2)その他の事業						
事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
	本年度は実施せず					